

やまねっと通信 第19号

2018・7

発行: 社会福祉法人やまねっと

〒242-0028 大和市桜森3-4-2 大和泉の森作業所内 TEL 046-282-9018

平成 30 年度社会福祉法人やまねっと 事業計画

平成 28 年 5 月に成立した改正障害者総合支援法が、本年 4 月より施行となります。「障害者の望む地域生活の支援」「障害児支援のニーズの多様化へのきめ細かな対応」「サービスの質の確保・向上に向けた環境整備」を 3 本柱として、自立生活援助(※1)、就労定着支援(※2)などの新サービスが開始されます。また、65 歳をすぎても通いながれた生活介護事業所等を利用できるよう事業者が介護保険事業所の指定を受けやすくするよう、基準の特例を設けたり、重度化・高齢化に対応できる日中サービス支援型共同生活援助の創設など様々な改正がなされました。同時に障害福祉サービスの報酬改定があり、法の改正に対応し新サービスの報酬・基準の設定、既存サービスの単価の見直し等が行われました。大和市でも、第 5 期障がい福祉計画が新たに作成され、今後 3 年間の数値目標及びサービス見込み量等が定められます。

やまねっとにおいても、第 3 次中期計画(平成 30 年 4 月～平成 33 年 3 月)を策定し、次のグループホームの新設、日中事業所の事業形態の見直し、重度化・高齢化に対応し、新たな支援の手立ての準備等を進めてまいります。昭和 58 年から平成 10 年ごろにかけて障害者地域作業所として開所してきた事業所も、20 年～35 年たち、利用する方々の機能の維持、高齢化等に対処する必要性を感じております。一方でこれから学校を卒業してくる若い方々へのニーズも充実させる必要があり、バランスをとりつつ、超少子高齢化社会の中でも、積極的な活動を目指していきたいと思います。

社会福祉法人になり、まる 5 年が経過しました。本年度もご家族、地域の皆様、その他関係各位の皆様のご協力をいただきながら、障がいのある方たちが、地域で働き、暮らしていく、そういったあたりまえの生活がおくれるよう支援をしてまいります。

※1 自立生活援助・施設やグループホームから一人暮らしへの移行を希望する方への支援
(定期的な巡回訪問や随時の対応)

※2 就労定着支援・就労した方の生活課題への対応、事業所と家族との連絡調整等の支援

平成 30 年度 社会福祉法人やまねっと 予算の概要についてお知らせします(事業活動による収支) 平成 30 年 4 月 1 日より平成 31 年 3 月 31 日まで

収入の部

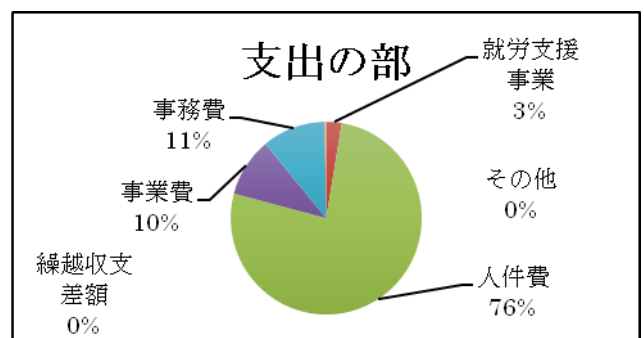
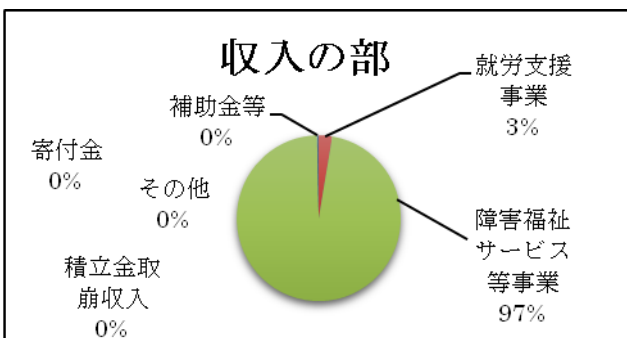
就労支援事業	8,188,000
障害福祉サービス等事業	302,634,000
補助金等	0
寄付金	307,000
積立金取崩収入	0
その他	738,000

収入合計 311,867,000

支出の部

就労支援事業	8,188,000
人件費	242,356,000
事業費	31,326,000
事務費	33,841,000
その他	812,000
繰越収支差額	0

支出合計 316,523,000





のぎく作業所（常勤）
後藤 潤一（ごとう じゅんいち）



福田作業所（非常勤）
西山 寿枝（にしやま ひさえ）



福田作業所（非常勤）
池田 直（いけだ なお）



福田作業所（ドライバー）
武藤 清（むとう きよし）



さくら作業所（常勤）
後藤 憲太郎（ごとう けんたろう）



さくら作業所（非常勤）
佐藤 友美（さとう ともみ）

やまねっとの新人職員を紹介します(*^^)v



すずな作業所（ドライバー）
荒井 孝行（あらい たかゆき）



すずな作業所（ドライバー）
大藤 長一（おおふじ ちやういち）



泉の森作業所（非常勤）
高橋 真紀（たかはし まき）



泉の森作業所（非常勤）
山内 哲（やまうち てつ）



泉の森作業所（非常勤）
百合川 規子（ゆりかわ のりこ）



泉の森作業所（非常勤）
一戸 恵子（いちのへ けいこ）

大和みつば作業所 30 周年のお祝い

大和みつば作業所 30 周年のお祝いの会が 3 月 9 日（金）に高座渋谷にある清風にて行われました。日頃お世話になっているボランティアさん、地区社協さんへ感謝状を利用者さんからお渡しいただき、花ごころさんに出張お寿司を握っていただきながらスクリーンで 30 年間の映像を見て思い出に笑いが出たり、、、タイムスリップした様な時間でした。ボランティアさんの手品で「あっ！」と驚き、ヨーヨーパフォーマンスでは、ヨーヨーを使った華麗な技で皆を魅了。福田神社獅子舞保存会の獅子舞は細かい演出が沢山あり、素晴らしかったです。みんなで楽しんだアットホームな会でした。これからも笑いの絶えない元気なみつば作業所でありたいと思います。皆さんよろしくお願いします。

感謝状贈呈



手品で早変わり



ヨーヨー
パフォーマンスの体



日本伝統芸能の獅子



大和市民まつり

5 月 12 日（土）・13 日（日）に大和引地台公園で、第 41 回大和市民まつりが開催されました。今年はぬり絵と缶バッチ作成を行いました。缶バッチのデザインは『ヤマトン』にするか『自分で自由に書ける紙』どちらにしようか悩んだ後、缶バッチにした後の喜ぶ笑顔がとても素敵でした。缶バッチはとても人気で初日で無くなってしまいました。多くの家族連れが立ち寄り下さり、やまねっとを知りいただく良い機会になりました。



ハートフル広場

6 月 2 日（土）、大和市文化創造拠点シリウスで大和中央シティライオンズクラブのご招待いただき、今年はすすな作業所とつきみの作業所が参加しました。各自が持参した写真を使って、思い思いのフォトフレームを作成！その後も歌に合わせてダンスや手拍子で楽しまれた後、美味しいお弁当とケーキをいただき、楽しい一日になりました。



薄葉理事長



大和中央シティ
ライオンズクラブ
鳥居会長

自分の意思をうまく表現することが困難な人の意思決定を支援する、ということを用いては、実際には難しい課題がいくつかあります。私たちの日常生活に照らしてみても、意思決定をしたり、決定を迫られたりする場面は日々ありますね。

1. 意思決定の類型

2016年に厚労省から出された「意思決定ガイドブック」では、意思決定支援の類型を3つに整理しています。「日常生活レベルにおける意思決定」「社会生活レベルにおける意思決定」「健康・生命レベルにおける意思決定」です。

「日常生活レベルにおける意思決定」は、例えば何を着るか、何を食べるか、どこに行くか、行くのを断るか、排泄するかどうか、何をするか、入浴するかどうか、誰と余暇活動を過ごすか等、多岐にわたりますが、気持ちが変ればやり直しができます。

「社会生活レベルにおける意思決定」は、誰と生活するか、どこで生活するか、どのような福祉サービスを利用するか、利用を継続するか止めるか、新たに事業所との契約を交わすかどうか等、一度決定すると取り消したり変更したりするのが面倒なので、支援会議等を開いて、焦らず慎重に決定していく必要があります。

「健康・生命レベルにおける意思決定」は、どこの病院で診断を受けるか、注射をするかどうか、入院するかどうか、手術をするかどうか等、医師・保健師・相談員等と相談して情報を得ながら慎重に決定していくことになります。

2. 意思決定支援の基本的原則

支援の際にしっかり肝に銘じておくこととして、「本人を中心にした支援であること（2006年国連で決議された障害者権利条約）、「どんな人にも意思があり、意思決定が可能である、と信じること」（2008年英国「意思能力法」）、「障害福祉サービス等の提供に係る意思決定支援ガイドラインの内容を踏まえた支援であること」（2016年日本）です。

ガイドラインは、事業者がサービス等利用計画や個別支援計画を作成して、サービスを提供する際の障害者の意思決定支援についての考え方を整理し、障害者の意思を尊重した質の高いサービスの提供ができるよう、意思決定の基本的原則を次のように挙げています。

1) 本人の自己決定にとって必要な情報の説明は、本人が理解できるよう工夫しておこなうこと。多くの選択肢から選ぶことが難しい場合は、選択肢を絞った中から選べるようにしたり、絵、カード、具体物を手がかりに選べるようにし、本人が安心して自信を持って自由に意思表示できるよう支援すること。

2) 職員等の価値観では不合理と思われる決定でも、他者への権利を侵害しないのであれば、その選択を尊重するよう努めること。ただ、その選択から生じるリスクについて、どのようなことが予測できるか、対応について検討しておくこと。リスク管理を強調するあまり、本人に制約的になりすぎないように注意すること。

3) 本人の自己決定や意思確認がどうしても困難な場合は、本人を良く知る関係者が集まって、本人のこれまでの生活史、人間関係等様々な情報を把握し、根拠を明確にしながら障害者の意思を推定していくこと。

今回は、事例を挙げながら、この課題について一緒に考えていきましょう。

季節のコラム「七夕に冷やし中華始めました」

梅雨も終わりに近付き、そろそろ真夏の民音が聞こえてくるこの季節、街を歩くと「はじめました」。こんな言葉が目に入るとついつい食べたくなるのが「冷やし中華」。しかし、中華といいつつ、実は1937年に宮城県仙台市で誕生したとされる日本発祥の和食です。そんな冷やし中華を食べるにはうってつけの日、それが7月7日の七夕。元々はそうめんを天の川に見立てて食べる習慣があった事から乾麺デーとされていますが、「冷やし中華の日」でもあるのです。七夕の日が晴れたら、天の川を渡り再会できた織姫と彦星が二人仲睦まじく冷やし中華をすすっている姿を想像しながら私達も地上で冷やし中華をすすってみませんか？